

## ■これまでのあり方検討会議での意見のまとめ

## 第1回の意見のまとめ

## &lt; 藤沢駅の施設について &gt;

- イベント広場がほしい
- 鉄道乗り換えがわかりづらい
- 駅全体としてのバリアフリー化が必要

## &lt; 南口駅前広場のデッキについて &gt;

- デッキが老朽化して汚い
- デッキから地上におりる階段が長い

## &lt; 南口駅前広場の歩行環境について &gt;

- バリアフル・不便である
- 駅前広場の配置が車優先となっており歩行者にとって不親切

## &lt; 周辺とのつながりについて &gt;

- 駅と周辺のつながり・回遊性が弱い

## &lt; ソフト的な取組について &gt;

- 再整備後の管理や運営等のエリアマネジメントを実施すること

## &lt; 藤沢駅のイメージについて &gt;

- 藤沢駅に藤沢らしさがない
  - ・藤沢らしさが感じられなくなってきた
  - ・活気が感じられにくくなった
  - ・駅としてのコンセプトが必要

## ワークショップのまとめ

## &lt; 藤沢らしさ &gt;

## まち全体の印象

- ▶平均点を少し上回った生活
- ▶古いまちであるが、高級住宅地・別荘地
- ▶潮風、明るい、暖かい、柔らかい、優しいといったイメージがある湘南の中心地。

## 環境・気候

- ▶緑が豊かで気候も暖かく住みやすい場所。
- ▶駅から富士山が見える景色。
- ▶ほっとするような空気感がある。
- ▶湘南らしいかっこよさ、センスのよさを感じる

## 観光資源

- ▶観光資源が豊かなまち（江ノ電・江の島、花火大会、箱根駅伝、遊行寺、藤沢宿）

## &lt; 藤沢駅にあっという間と思う機能、空間、過ごし方等について &gt;

## 交通機能

- ▶歩きやすい歩行空間（曲線のデッキ、屋根）
- ▶気軽に自転車で来られる駅へ。

## 滞留機能

- ▶市民が使えるような憩える場所、休憩できる場所
- ▶立ち止まれる、くつろぐ、遊べるような、ゆったりとした明るく過ごしやすい空間。
- ▶食べ歩きや市場、レトロ感のある商店街や飲み屋街。
- ▶イベントや待合わせができる場所や広場

## 観光・ブランディング・藤沢らしさ

- ▶藤沢というブランドを育てる。
- ▶湘南観光の玄関として立ち寄ってもらうための機能。
- ▶富士山や江の島が見えるような展望スペース

## アンケートの意見まとめ

## &lt; 南口駅前広場地上部について &gt;

- 「デッキが屋根代わりとなり雨の日も歩きやすい」の回答が非常に多い。
- 「歩道が広く歩きやすい」「明るい」「緑が多い」の回答も割合が大きい。
- ×「エレベーター・エスカレーターがない」の回答が半数以上あった。
- ×「休める場所がない」の回答も多い。
- ×「江ノ電とJR・小田急の乗換が不便・わかりづらい」の回答も比較的多かった。

## &lt; 南口駅前広場デッキ部について &gt;

- 「安全に通行できる」の回答が多い。
- ×「エレベーター・エスカレーターがない」の回答が半数以上。

## &lt; 南口駅前広場に必要機能について &gt;

- ▶「エレベーター・エスカレーター」「ベンチ休憩スペース」「屋根」「待ち合わせスペース」「案内板地図」の順で多い。

## &lt; 藤沢駅の印象について &gt;

- ▶「ほどよく田舎」「日常の買い物に便利」「商業施設が多い」「江の島、鎌倉、湘南の入り口」「緑が多い」といった意見が多い。
- ▶一方、「老朽化」「狭い・暗い・ごちゃごちゃしている」などネガティブな意見も見られた。

## &lt; 南口駅前広場での過ごし方について &gt;

- ▶「藤沢産のものを買いたい」「くつろげるスペースのある駅前」「イベントができる場所」「駐車場、駐輪場が欲しい」といった要望多くみられた。

## 方針①

歩きやすい歩道の整備と周辺の街へのつながりの強化

## 方針②

歩道と車道のバランスを整え、市民が居場所として過ごせる広場づくり

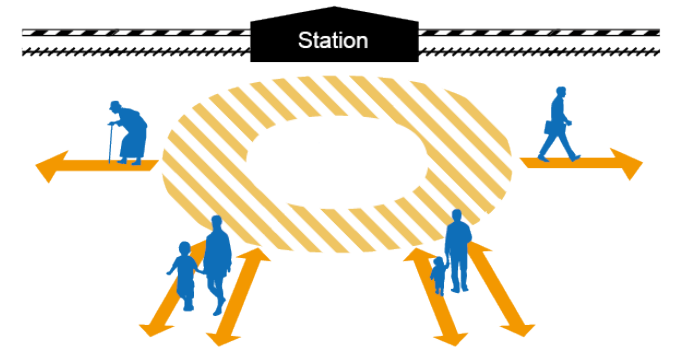
## 方針③

藤沢ならではの魅力を取り入れた空間づくり

方針①

歩きやすい歩道の整備と周辺の街へのつながりの強化

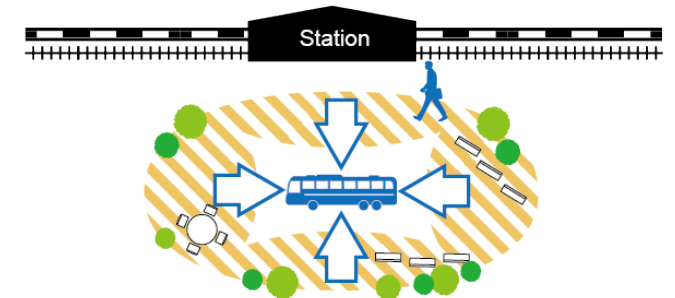
- ▶誰にとってもより歩きやすい歩道づくりを心掛け、乗換動線や地上部も含めて移動のしやすい歩道づくりを行う。
- ▶周辺の街区や商業施設へのアクセスの向上を図り、街全体を人が回遊しやすくなるような駅前広場を整備する。
- ▶段差解消や勾配軽減等のバリアフリー化を徹底し、高齢者にも歩きやすい空間とする。



方針②

歩道と車道のバランスを整え、市民が居場所として過ごせる広場づくり

- ▶現状の通り過ぎてしまうだけの駅前広場に市民が過ごせる滞留スペースを新たに整備する。
- ▶ちょっとしたイベントや、休憩、こどもが遊べるような機能を設ける。また、その場所を適切に使われるように維持管理を行い、居心地のよい場づくりをする。
- ▶駅前広場内に必要な機能の整理を行い、車道空間と歩道空間の再配分することで広場内にたまり空間を創出する。



方針③

藤沢ならではの魅力を取り入れた空間づくり

- ▶藤沢の資源（海が近い温暖な気候や、落ち着いた豊かな暮らし、江の島や藤沢宿等の歴史的資源等）を活かし、駅前広場のデザインとして藤沢らしさを取り入れることで、全体的な雰囲気も含めて魅力的な空間づくりを行う。
- ▶湘南観光への玄関機能として、観光案内や藤沢の魅力をアピールできるような情報発信を行う。
- ▶待ち合わせや来街者への目印となるようなシンボル機能について検討を行う。

